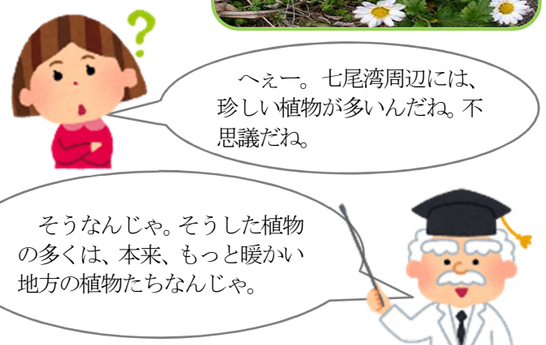
1　かけがえのない七尾の植物たち

イワダイゲキ

波のかぶる岩場のきびしい環境で生育する。七尾湾が日本の北限（県Ⅰ）

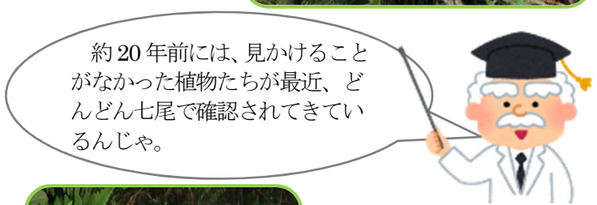
サンインギク

名の通り、本来は、山陰地方などの海岸に生え、七尾が北限に近い。（県Ⅰ）



サクラバハンノキ

全国でも珍しい温暖な湿地に生える樹木。七尾湾周辺に最近多く見かけるようになった。
（国準・県Ⅱ）



ミヤマノコギリシダ

本来は石川県より南のより暖かい地方に見られる北限のシダ。最近、七尾湾周辺で確認されるようになった。（県Ⅱ）

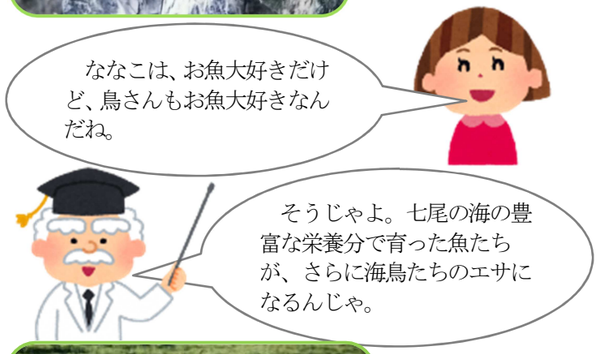
2　かけがえのない七尾の鳥たち

ミサゴ

七尾湾、富山湾、それに赤浦潟や熊木川などにエサの魚がいっぱい。七尾は、ミサゴの好む生育環境だ。（県準）

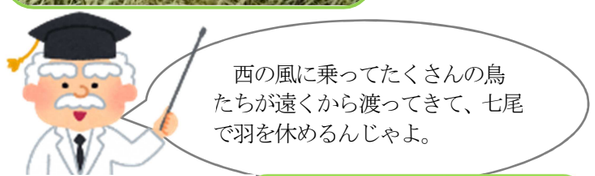
ウミウ

毎冬、羽咋の気多大社での神事の主役はウミウだ。そのウミウの捕獲地、七尾の観音崎にヒメウ、カワウもねぐらとしている。



コウノトリ

平成29年春に市内の平野部へペアが渡来。ヒナは生まれなかったが、大きな巣を作ってくれた。今後に期待。
（国特別天然記念物）



シロカモメ

七尾港に乱舞するウミネコの姿や声。まさに七尾市の鳥だ。他に９種のカモメが市内で記録されている。

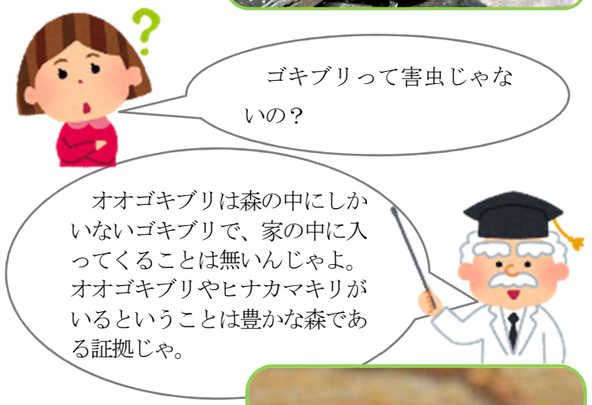
3　かけがえのない七尾の昆虫たち

オオゴキブリ

本来は七尾より南の暖かい地方に見られ、枯れた木の中で生活する。（県Ⅱ）

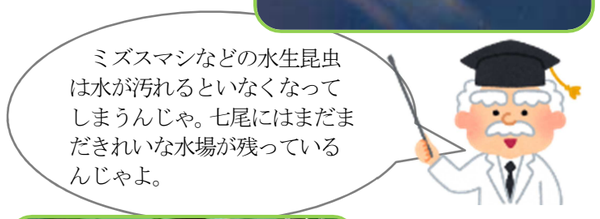
ヒナカマキリ

日本最小のカマキリ。ハネがなく、落ち葉の中を動き回る。新潟県より南で生育する。（県Ⅱ）



ミズスマシ

池などの水面を泳ぎ回り、水面に落ちた虫を食べる希少な昆虫だ。
（県準）



オオキンカメムシ

南方系の大型のカメムシ。本州中部以南に分布し、近年、七尾市で初めて確認される。海を越えての移動が可能。

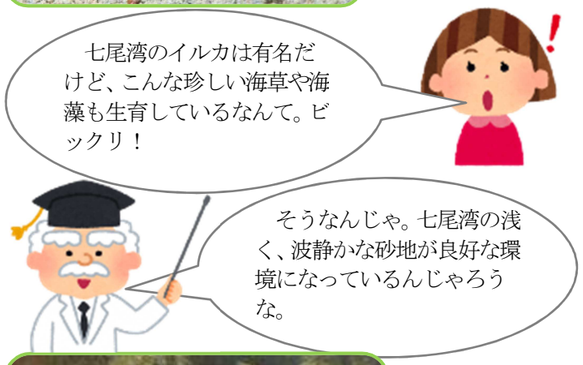
4　かけがえのない七尾の水生生物たち

ノトウミヒルモ

七尾湾周辺の浅い海に生育する海の中の草。分布が限られ、減少しつつある。（県準）

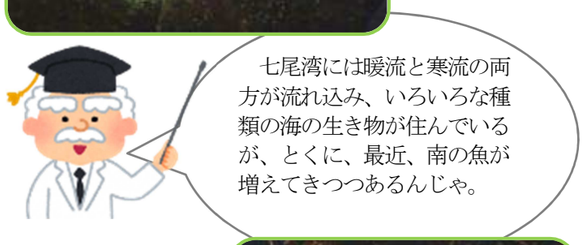
ホソエガサ

七尾湾の浅い海の海藻。貝がらに付着。北限にあたり、全国的にも貴重。
（国Ⅰ・県準）



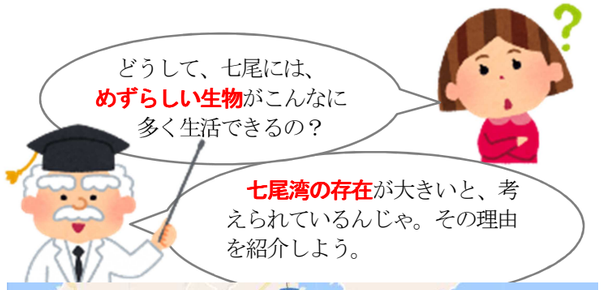
メダカ

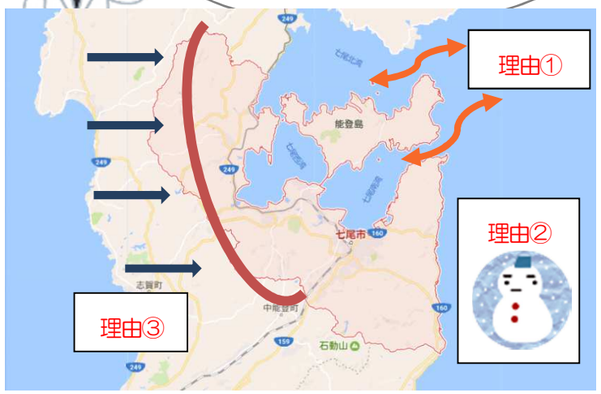
水路のコンクリート化や他地域のメダカの放流による交雑で数が減っている。
（国Ⅱ）



イトヨ（降海型）

七尾湾から川に上ってきて、水草などで鳥のような巣を作る。海での生体が解明されていない。（県Ⅱ）





【理由①】　七尾湾に安定した暖流

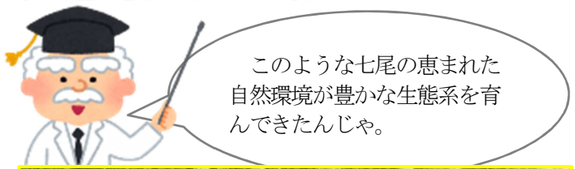
暖流と寒流がぶつかる能登半島の海でも、七尾湾内は、とくに、**暖流の影響**が受けやすく、一年を通して、温暖な環境が安定して続いている。

【理由②】　県内では、他地域より小雪

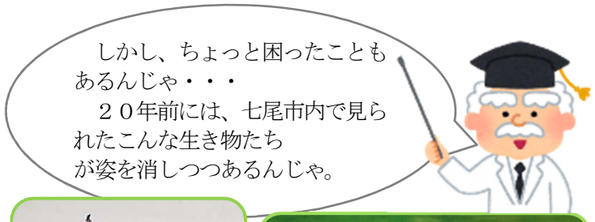
そのため、冬季の気候条件も、県内の他地域よりも、比較的、**最低気温が高く、積雪量も少ない**。そのため、冬越しがしやすい。

【理由③】　冬季の北西風から守られている

きびしい冬の北西風は、凍結や乾燥を引き起こし、冬越しをむずかしくさせている。穴水町や志賀町ざかいの尾根が、その北西風を防いでくれている。



１年中安定した環境のスギ林に希少種が多い



ヒナノキンキャク

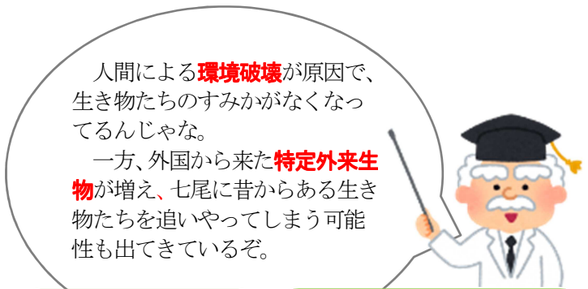
山間水田のあぜに生育する希少種。**過疎高齢化**で水田が放棄され，減少傾向。

イシガメ

日本固有のカメ生息環境の悪化と**外来種**との競合で、生息数が減少しつつある。

ヘラサギ[左]　クロツラヘラサギ[右]

トキのなかま。田鶴浜の里山で日本初のクロツラヘラサギの造巣行動が確認された。しかし、近年では、飛来はまれ。



オオキンケイギク

近年、急速な勢いで、河川敷など全国的に**野生化**している。市内でも生育を確認。

ミシシッピアカミミガメ

アメリカ原産のカメ。飼育個体の**野生化**で、在来種減少の原因となっている。

調べよう！　見守ろう！
生き物たちが教えてくれる七尾の今

子どもたちの手で

学校横の森に生育する希少植物を調査中！

森の中の土壌動物の多様性を調査中！

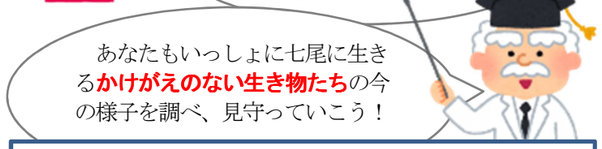
市民の手で

“自然の不思議みつけ”を通して、自然の豊かさを実感中！

希少生物の分布調査

七尾湾の離島をめぐり、貴重な動植物の観察中！

七尾の自然を調べ・守る活動が活発に行われつつあるんだね。



発行元　【平成 30 年２月年発行】
七尾市市民生活部環境課
編集
七尾市野生動植物生息等調査委員会（七尾市環境課内）
博物館開設推進室（七尾市文化課内）
写真提供（掲載順）
石川県ふれあい昆虫館（ハッチョウトンボ）
世界農業遺産活用実行委員会（ホクリクサンショウウオ）
渡部 晃平 様（ミズスマシ）、池口 新一郎 様（イトヨ）

七尾に生きる かけがえのない生き物たちを紹介します！

ななこ

わたしたちがプレゼンターです！

ものしり博士

ヤマシャクヤク（県Ⅰ）

ノウサギ（激減している）

ハッチョウトンボ（激減している）

ホクリクサンショウウオ（県Ⅰ）

七尾には、**めずらしい生き物たち**がたくさん生きているって本当なの？

そうなんじゃ。これからいっしょに七尾のめずらしい生き物たちを見に行こう！

略語	カテゴリー	内容
国Ⅰ 県Ⅰ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅の危機に直面している種
国Ⅱ 県Ⅱ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅の危険がせまっている種
国準 県準	準絶滅危惧	現時点の絶滅危険度は小さいが、環境の変化によっては絶滅危惧になる可能性がある種